

【試合結果】

女子 予選Cリーグ						
日時	平成25年4月13日 (土) 13:30 ~					
会場	苫小牧総合体育館 Bコート					
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center; width:50%;"> 藤浪 愛知 75 </td> <td style="font-size:3em; vertical-align:middle; padding:0 10px;">}</td> <td style="text-align:center; width:50%;"> 26 - 9 17 - 2 19 - 12 13 - 18 OT </td> <td style="font-size:3em; vertical-align:middle; padding:0 10px;">}</td> <td style="text-align:center; width:50%;"> 女川 宮城 41 </td> </tr> </table>	藤浪 愛知 75	}	26 - 9 17 - 2 19 - 12 13 - 18 OT	}	女川 宮城 41
	藤浪 愛知 75	}	26 - 9 17 - 2 19 - 12 13 - 18 OT	}	女川 宮城 41	
審判	主審 細田 幸男 副審 相楽 典子					

第6回北海道カップ中学生バスケットボール大会



【ボックススコア】

藤浪		愛知						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	唐澤 美空	×	14	2	4	0	4	0
5	成田 めぐみ	×	5	0	2	1	4	1
6	佐古 瑠美	×	13	3	2	0	4	1
7	宇治 みゆい	×	13	1	5	0	2	3
8	中井 神那	/	6	0	3	0	2	1
9	小林 真子	DNP						
10	芦田 佳代	/	8	0	4	0	1	1
11	山本 麻衣	×	8	0	4	0	1	1
12	佐古 愛	/	5	1	1	0	1	2
13	平松 真穂	/	0	0	0	0	0	0
14	岡本 莉奈	/	0	0	0	0	0	0
15	北川 雪乃	DNP						
16	伊藤 彩果	/	2	0	1	0	4	0
17		DNP						
18	0	/	1	0	0	1	0	1
HC	鷲野 鋭久							
合計			75	7	26	2	23	11

女川		宮城						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	橋本 華奈	×	0	0	0	0	0	0
5	阿部 麗	×	15	0	5	5	3	2
6	平塚 礼菜	/	2	0	1	0	1	2
7	須田 千遥	×	4	0	2	0	1	2
8	石森菜々子	×	6	0	2	2	1	3
9	須田 椎茄	/	0	0	0	0	0	0
10	鈴木 三菜	/	4	0	2	0	2	2
11	阿部 心	×	10	0	5	0	3	4
12	0	DNP						
13		DNP						
14	0	DNP						
15		DNP						
16	0	DNP						
17		DNP						
18	0	DNP						
HC								
合計			41	0	17	7	11	15

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

藤浪スタート#4・5・6・7・10、女川スタート#4・5・7・8・11
 1Q:両チームハーフマンツ。精度の高いプレーで得点を重ねる藤浪に対して、女川はなかなかシュートチャンスをものにできない。女川は積極的なドライブからファウルをもらい、フリースローから流れをつかみ始める。#8のドライブに#11が合わせてゴール下のシュートを決め、小気味良いプレーで加点。これに対して藤浪は#6の3ポイントで加点。26対9で1Q終了。
 2Q:藤浪のターンオーバーから女川が得点。女川の良い流れで2Qスタート。女川はディフェンスをオールコートマンツに変えてプレッシャーを強める。藤浪はシュートミスやターンオーバーが続き3分間ノーゴール。しかし、ディフェンスで立て直し、ディフェンスリバウンドから、勢いよく#6が走り出し、ワンパスからのブレイクで得点。女川がつかみかけた流れが藤浪へ。すると女川すかさずタイムアウト。立て直しを図ろうと積極的に攻める女川だが、なかなかシュートが決まらない。そのボールを藤浪#6・16がリバウンド。止まっていた得点が息を吹き返し、#6・7のスリーポイントやリバウンドシュートで確実に得点。結果的に女川の流れは戻らず、43対11とさらに点差が広がった。
 3Q:両チームとも、ナイスアシスト、ナイスカッティングから加点する展開。2人の関係からのチャンスメークが光る。藤浪は#7・11のスティールからの速攻で確実に得点を挙げる。女川は苦しい展開からも#7のジャンプシュート、#5のゴール下シュート、リバウンドシュートで粘り強く得点を返す。藤浪は後半、大幅にメンバーを入れ替え、さらに勢いのあるバスケットを展開。層の厚さを見せ付ける。最後まで走った藤浪が流れをつかんだまま3Q終了。62対25。
 4Q:藤浪は#18のリバウンドへのからみ、#12のアウトサイドシュートでじりじりと得点を積み重ねる。女川3分間ノーゴール。その静寂を断ち切ったのは#11からのアシストに飛び込んでゴール下に合わせた#8のシュート。連続してポイントを重ねる。藤浪はエントリー選手が全員コートへ。下級生にとって貴重なゲーム経験となる。この間に女川がスティールから速い展開でボールをリングへ。最後に#5のフラッシュからのゴール下シュートで藤浪のファウルを誘い、フリースロー。これを2本とも決め、75対41でゲーム終了。藤浪がCリーグ1位となった。